

今回の特集では、胆道癌治療の最前線について様々な視点から記述していただいた。いかにこの領域において未解決のクリニカルクエスチョンが多く残されているかということが示された。内視鏡的ドレナージ術の大きな進歩もみられるが、とにかくまだまだ胆道癌の治療成績は不十分である。

胆道癌よりも治療成績が悪い癌腫である膵癌に目を向けてみると、近年の治療成績の改善には目をみはるものがある。その原動力は新規抗がん剤の開発が進んだことと、エビデンスの創生（多施設共同研究の成果）が着実に進んだことによる。例えば FOLFIRINOX や GnP 療法の登場であり、JASPAC01 試験による術後 S-1 治療である。JASPAC01 以外は海外からのエビデンスである。言い換えると、膵癌はグローバルな腫瘍であり、世界中で多くの患者が苦しみ、製薬企業が注力していることを意味する。それに引きかえ胆道癌の化学療法はあまり変化がない。以前から胆道癌はアジアに多い癌腫と言われてきたが、残念ながら胆道癌の化学療法のエビデンスは欧米からもたらされることが多い。ABC02 試験（切除不能胆道癌に対する GC 療法）しかり、今年の ASCO で胆道癌の術後補助療法の予後改善効果を示した BilCap 試験しかりである。

もともと膵癌に比べると胆道癌は局所にとどまる症例の比率が高く、外科的切除が有効な癌腫と理解されている。外科的治療の比重が高いと、欧米と日本で標準治療が異なることがある。すなわち、直腸癌では、欧米は術前化学放射線療法後に TME を行うのが標準で、日本は TME + 側方郭清が標準治療である。外科的治療の比重が高いと、補助化学療法の上乗せ効果を出すのにはより多数例が必要になる。National study の必要性は十分すぎるほどわかるが、昨今の臨床試験体制では費用面から実施は困難かもしれない。数千万円～数億円の試験は国が企業のサポートが必要である。外科医の力の及ばない切除不能例や再発例を見るたびに、自分の無力さを痛切に感じる。

これを打開する鍵になるかもしれないのが、いわゆるクリニカルシーケンスと呼ばれるがん遺伝子検査であろう。胆道癌の遺伝子変異は肝内、肝外、胆嚢、乳頭部で異なることがわかってきた。肝内胆管癌における FGFR fusion 遺伝子は有名であるが、それ以外にも有望な遺伝子変異とそれに対する治療薬が見つかる可能性がある。当院でも MSK Impact という遺伝子パネル検査を始めた。比較的安価といっても 60 万円くらいかかることが問題点であるが、これで効果があるかもしれない薬剤を同定できる可能性がある。ドライバー遺伝子だけでなく最近免疫チェックポイント関連蛋白も比較的容易に評価できるようになった。切り口が増えるほど個別化治療の可能性は倍々で増えていく。得られたすべての情報を入力して人工知能に解析させれば、100 通りくらいに分類して最適治療を導き出してくれるのではないだろうか？ 個別化治療の著効例に対して外科的切除（conversion surgery）を行うことが増えることを期待している。（遠藤 格）

臨床外科（第 72 巻 第 13 号）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担 当 鶴淵・川村・水野・安部

2017 年 12 月 20 日発行（毎月 1 回 20 日発行）

（1 部）定価：本体 2,700 円 + 税

2017 年年間購読料（増刊号を含む 13 冊、送料弊社負担）	
冊子版/通常	39,840 円 + 税
冊子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
電子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
冊子 + 電子版/個人特別割引	41,720 円 + 税

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物）

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ（インターネット）は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

*「臨床外科」は株式会社医学書院の登録商標です。